

令和5年度 第1回豊橋市健幸なまちづくり協議会母子保健推進部会議事録

日時	令和5年7月5日（木）午後1時30分～午後3時
場所	豊橋市保健所・保健センター 第1会議室
出席委員	豊橋市健幸なまちづくり協議会母子保健推進部会委員9名
事務局	豊橋市保健所 こども保健課
会議の議題	議題（1）豊橋市母子保健推進計画（第2次）改訂版の最終評価について 議題（2）豊橋市母子保健推進計画（第2次）改訂版の次期計画について 議題（3）伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業における伴走型相談支援について
議事の概要	以下に記載
事務局	議題（1）豊橋市母子保健推進計画（第2次）改訂版の最終評価について
委員 A	<p>高校3年生女子の避妊方法を正確に知っている割合が悪化していることについて気になった。高校3年生の女子の中で、性的に活発な女子と性的に興味がない女子の二極化しているのではないかと思う。興味がない女子は、避妊方法に対しても興味がなくなっていると思うが、このアンケート結果ではそこまではわからない。妊娠の仕方を知っていることは、避妊の仕方を知ることに繋がるため、この辺りはもう少し産婦人科医や保健所の方々で正確な避妊方法の周知をしていく必要があるのではないかと思う。</p> <p>その他、性器クラミジア感染症の増加が気になった。性感染症自体は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を経て、接触という点では少なくなっている印象がある。ここ最近では、クラミジアの検査を実施するとほとんど陰性だが、当院の受検者とは別のもっと若い世代に広がっている可能性がある。性器クラミジア感染症が増えるということは、その他の性感染症も増えていることが懸念される。性器クラミジア感染症についても、周知の必要があると感じた。</p>
事務局	議題（2）豊橋市母子保健推進計画（第2次）改訂版の次期計画について
議長	指標について、中間評価で柔軟に見直すことは可能か。
事務局	中間評価の時に、現状に応じ適切な指標へ見直していくことは可能。
議長	指標予定となっている「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」の調査結果報告等で、妥当とする目安時間は示されているのか。
委員 B	<p>「睡眠時間」について、スポーツ庁の報告書のデータを見ているが、生活習慣はもちろん、家庭事情など、様々な要素を含んでいるため、一律の睡眠時間を目標項目として設定することは難しいと感じる。</p> <p>「勉強以外でのメディアの利用時間」については、学校現場も十分注目をしている要素である。学校としても、1人1台のギガ端末を子どもたちに貸与し、持ち帰りを推奨しながら、それぞれの学習に個別に最適な学びということで活かすように伝えてきている</p>

	<p>ので、勉強以外なのか、勉強になるのかという若干曖昧な面が、うまく線引きができるのか不安ではある。</p>
委員 C	<p>「20 歳未満の喫煙・飲酒」について、データの取り方だが、今まで中学生や高校生を対象にアンケート調査を実施しており、正確性について疑問視されていたと思う。今後 20 歳以上を調査対象にするかということだが、喫煙・飲酒の開始時期も一緒に問うことによって、喫煙・飲酒をしてはいけない対象者に対する調査より、正確性の高いデータが取れると思う。</p>
事務局	<p>学生に直接問う方がよいのか、どのような問い方なら取り組みの結果が見えてくるか、「20 歳未満の喫煙・飲酒」を指標としていくのかどうかも含め、頂いた意見を踏まえ検討していきたい。</p>
委員 D	<p>20 歳未満の喫煙について、有害物質は成長に悪影響を及ぼすだけではなく、長期に渡って悪影響をきたし、年配の方からも喫煙していなければよかったと後悔の言葉も聞かれる。小学校でタバコの出前講座を行う中で、タバコが悪いというだけではなく、リスクについても情報提供できればよい。また、妊娠中の喫煙率と生後 4 か月児がいるご家庭の喫煙率については改善が必要だと感じた。</p>
議長	<p>子どもや子育て中の保護者の方に関わる活動をされる中で、課題や近年の傾向等、感じていることはあるか。</p>
委員 E	<p>全体的なことになるが、私たちが子育て支援をしている中で、話題になるのは 0 歳から 3 歳までの育ちである。0 歳から 3 歳までの愛着や育ちにより、その後の青年期の精神的な安定に通じるのではないかと感じている。</p> <p>男女平等参画と言われる中で、女性がどう働き、どう子育てに向き合ってきたかを考え、計画を作って欲しい。一つ一つの指標はどれも大切であるが、調査集計をする中で取捨選択していくことも必要だと思う。ただ、子どもたちの様子をみると、愛着が必要な年代にどう母子を支援していくかが今後は重要になると思う。</p>
事務局	<p>議題（3）伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金の一体的実施事業における伴走型相談支援について</p>
委員 E	<p>資料の中に、自主的に支援をする団体が存在しないように思う。一つ一つの活動は小さな活動かもしれないが、活動が継続しているということは、地域からの必要性があるからこそだと思う。地域活動者との連携について伺いたい。</p>
事務局	<p>地域で取り組まれている様々な団体を含めて地域と捉えている。資料の中の「子育てサークルなど」や「子育て支援・サービス」に様々な団体も含めて捉えており、連携を図っていきたい。</p>
委員 F	<p>平成 30 年から妊婦さん対象のマタニティサロンを開始した。出産経験をされた先輩ママパパと赤ちゃんに来てもらい、妊婦さんからの質問に答えてもらっている。産前産後のママのメンタル面や赤ちゃんの特徴、赤ちゃんの抱っこの仕方を体験・体感してもらうなどのプログラムを組んでいる。妊婦さんの中にある漠然とした不安に対して、すでに子育てをスタートしたパパやママと交流してもらうことで、子どもがいる家庭のリア</p>

	<p>ルな様子を見てもらい、心配が軽くなったり、出産子育てに必要な準備を実感してもらっている。子育て支援センターを利用している者同士、身近な人に話を聞いてもらい、身近な人たちが経験しているリアルを知るといことで、聞いたことの知識が記憶として定着しやすいと感じる。</p> <p>また、今年からマタニティサロンの後、産休に入った頃に赤ちゃんサロンに誘うことをしている。出産が近くなり聞きたかった内容も変わっているため、継続した支援の必要性を感じている。</p> <p>その他、マタニティサロンに参加する男性の割合が徐々に増えてきていて、出産や子育てをする前から、子育てを一緒にしていくという気持ちを持っている男性が多くなってきたと感じる。</p> <p>妊娠期から就園後も含めて、何か困ったことがあるときに相談できる子育て支援センターという存在を早い時期に知ってもらうことが大事だと感じる。</p>
議長	<p>妊娠中から身近な相談先が増えることが期待される。妊産婦さんが相談しやすくなるためには、どのようなことが必要だと思うか。</p>
委員 G	<p>伴走型相談支援の妊娠 8 か月面談をされた方で、面談に来所した方の表情が明るくなり、笑顔になって帰られるということだが、面談に繋がらない方をどのようにして、これからすくいあげていくのか。妊娠中に不安を持っている方は、おそらく出産後に孤立してしまっている方も多いと思う。今後、主任児童委員としてどのように関わっていけばよいのかということを考えていきたいと思う。</p>
委員 H	<p>妊娠期にファミリーサポートセンターへ来ていただいて、早めに手続きをしておくことで、サポート体制ができ、妊娠中の方の安心に繋がると思う。また、つどいの広場もここにこサークルも、出産後に親子で参加する方がほとんどだと思う。妊娠期に繋がられる場所が少ないと感じる。妊娠期に誰か寄り添ってくれる方がいると安心できるのではないかと思う。また、車を持っていない方もいるので、徒歩圏内で遊びに行けるところが少ないことも課題だと思う。</p> <p>また、育児休暇を 1 年ほど取得して職場復帰される方が多く、産後にゆとりを持って子育てに向き合えないのが現状であるように思う。早めに保育園の入園のことを聞きたいとアドバイザーに相談してきたり、子育て情報がたくさんあるため、ご家族も迷うことが多い。</p>
議長 委員 H	<p>歩いて行ける場所としては、公園はどうか。</p> <p>公園では親子だけの向き合いで他との関わりがない。母親は人とおしゃべりがしたいという希望があり、ファミリーサポートセンターはお母さんができない所をサポートする支援なので、一人のお子さんに対してお母さんと援助会員と一緒にサポートすることができない。その為 NPO まんまのホームスタート等のサービスを紹介するようにしている。</p>
事務局	<p>本日の議題についてはこれで終了とする。全体を通じて何かご意見等はあるか。</p>
委員 I	<p>伴走型相談支援について、自分から人との繋がりを求めて発信できる方は、その後に相談をすることができると思うが、それができない方をどう救っていくことができるか、考えていく必要がある。妊産婦さんが自主的でなくても、こちら側がニーズを汲み取って、相談支援に繋がっていくような流れがあるとよい。誰に対しても拒否的な態度を示される方に対しても、介入方法を考えていけるとよい。</p>

事務局	<p>昨年度実施した「健康づくりと出産・育児に関するアンケート」について、豊橋市ホームページに掲載してあるので、ご覧いただきたい。</p> <p>本日いただいた意見を踏まえ、母子保健事業を推進していきたいと思う。</p>
-----	--